

こんにちは

会社訪問記

リサイクルは
私たちの企業使命です

協材碎石株式会社

(愛知県東海市)

名古屋市南区に隣接する屈指の工業地域、東海市南柴田町にある協材碎石株式会社名古屋事業所に伺い、事業内容等いろいろと藤浦社長にお話しいただきました。

——事業内容をまず簡単に教えていただけませんか。藤浦社長（以下藤浦に略）『主な事業内容は製鋼スラグとダスト類の加工販売です。そもそも当社の前身である協材興業株式会社昭和26年の創業以来、スケール・製鋼スラグ・ダスト類等を製鉄原料やセメント原料、土木材料として有資源化してまいりましたのを、昭和62年に協材碎石と協材興業に分社し現在の組織になったわけです。



藤浦社長

ちなみに製鋼スラグは昭和44年から処理をはじめています。前身会社の歴史も含めると40年以上になります。』

——社名に碎石と入っていますが、では碎石業を行っているのではないのですか。

藤浦『元来、スラグを処理するという目的で当社は設立されていますから、天然碎石を製造しているわけではありません。スラグ碎石です。』

——先程の事業内容の説明で、製鋼スラグとダスト類の加工販売を主に行っているということですが、この中に産業廃棄物処理はどのように関わっているのでしょうか。

藤浦『当社の処理する製鋼スラグの多くは有価物扱いのスラグがほとんどです。事実、平成元年までは産業廃棄物の処理を行っておりません。それまでは有価物だけを処理していました。この年から建設廃材と廃棄物のスラグの中間処理をはじめました。産業廃棄物処理業者としては日が浅いわけです。ちなみに昨年度の全体の取扱量は70万ト



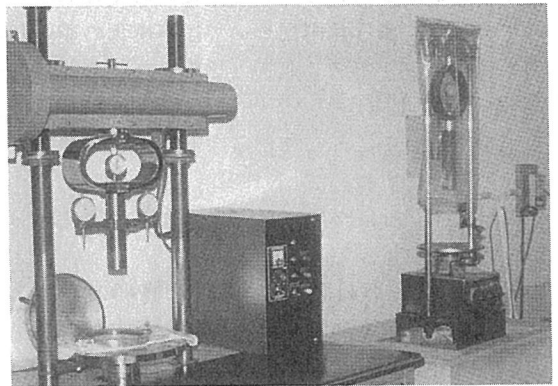
社名/協材碎石株式会社 所在地/愛知県東海市南柴田町二ノ割170番地の7
代表者/藤浦正己 設立/昭和62年 従業員/45名 TEL/052(601)1677
事業所/本社、名古屋事業所、管理センター
営業種別/中間処理(破碎) 取扱品目/ガラスくず及び陶磁器くず、鉱さい、建設廃材

ンほど処理しています。』

——もともとリサイクル企業だったわけですね。藤浦『世の中に不必要な物はない、というのが当社創業者の言葉で、私どもの基本精神になっています。つまり、リサイクルは私どもの企業使命なんですね。現状ではリサイクルしにくい物でも、新技術の開発を行いながら、リサイクルに持っていきけるような体制づくりに努めています。当社は技術陣がけっこういますので、消費者に安心して購入していただける安価で品質の良いリサイクル製品をご提供してまいりたいと常に考えています。』

——では最後に、労働安全について取り組まれていることを教えてください。

藤浦『当社の施設には回転体が多いので、原則的に動いているものには手を出さないこと。まず手を止めて、一度考えてから行動しようということを徹底させています。設備は修理できるが、人の場合はそういうわけにいきません。あせらずに作業するように指導しています。』



試験室 (CBR 試験機等)